

地域再生計画（污水処理施設整備交付金）事後評価調査

都道府県名	三重県	事業実施主体	津市	地域再生計画名	「エコシティ・津」清流再生計画
計画期間	平成17～21年度	評価責任者	津市 下水道課長、環境政策課長		

	指標		基準値		中間目標値		最終目標値		事後評価	最終目標値の実現状況に関する評価
	指標1	指標2	基準年度	年度	中間実績	基準年度	最終実績			
①地域再生計画に記載した数値目標の実現状況	指標1	污水処理人口普及率を71.2%から74.6%に向上させる。	H17	H19	76.1%	74.6%	H21	78.4%	○	污水処理人口普及率については、最終目標値である74.6%を大きく上回る78.4%の普及率に向上させることができた。
	指標2	「環境フェア」の開催など、生活排水対策に係る様々な環境教育を実施する。特に「環境フェア」については、参加人数の目標を5,000人とする。	H17	H19	10,000人	5,000人	H21	5,500人	○	天候にも左右されるイベントでもあるため、平成20年度開催時には、4,500人と目標値を下回ったが、それ以外の年度については、参加人数の目標値5,000人を達成することができ、たくさんの皆様に環境について考えていただくことができた。
	指標3	「エコシティ・津ネットワーク」の会員数を23団体から30団体に増やす。	H17	H19	24団体	30団体	H21	39団体	○	数字上の目標値の達成は出来たが、計画期間中に環境フェア実行委員会と山・川・海ネットワークとして団体を再編したため、目標値として、団体数を単純に比較することが出来ないが、数字上の目標値は、達成することができた。
②地域再生計画に記載した数値目標以外の波及効果の実現状況	指標1									
	指標2									
③事業の進捗状況	事業名	整備量（その他の事業では取組内容）			事業の進捗状況に関する評価					
		計画	中間年度(H)	最終実績						
特別措置を適用して行う事業	公共下水道事業	9,100		3,440	公共下水道事業については、志登茂川浄化センター建設工事が遅れており、公共下水道工事の進捗に影響しているため、当初の目標であった整備量9,100mに満たなかった。					
	浄化槽設置整備事業	1,389		1,192	公共下水道等の整備区域を除く津市の全域において、景気後退、高齢化世帯の増加による浄化槽設置の減少、住宅着工数の減少のため、当初の目標であった整備量1,389基に満たなかったものの、8割以上の整備量を達成出来た。					
その他の事業	環境学習等の推進	<ul style="list-style-type: none"> 記念植樹、ホテル観察会、自然探検隊などの環境学習の推進 生活かえる！エコエコ家族の普及促進を図り、環境啓発を進める 			記念植樹、ホテル・水生生物の観察会や「生活かえる！エコエコ家族」の学習会等を開催することにより、環境啓発活動を推進することができた。					
	美しいまちづくりの推進	<ul style="list-style-type: none"> ごみダイエット塾の開催 市民清掃デーの実施 			生活環境の保全と併せて、まちを美しくする市民意識の向上を図るため、市民清掃デーを実施し、道路・公園等の一斉清掃活動を行い、美しいまちづくりを推進することができた。					
	生活排水対策の実施	<ul style="list-style-type: none"> 下水道整備区域内における水洗化の推進 ・尿・浄化槽汚泥の海洋投入処分の禁止に伴う陸上処理施設での処理量の増加等に対応した施設整備の実施 			水洗化の推進をするために、平成17～18年度に尿・浄化槽汚泥高度処理施設整備を実施することができた。（157kl/日から188kl/日）					
計画外で独自に実施した事業										
④評価方法	計画期間終了後、最終実績及び推移を基に事業の評価を実施した。									
⑤事後評価の公表方法	市のホームページへ掲載									
⑥計画全体の総合評価	公共下水道、浄化槽の污水処理施設の整備を進め、環境フェアなどの開催により生活排水対策に係る様々な環境教育によって、市民の方々へ関心を持っていただくことにより、自主的・自立的で持続可能な地域形成が図られ、生活環境の改善につなげることが出来たと考えられる。									
⑦今後の方針等	津市全域としての新たな地域再生計画の作成を行い、引き続き事業を推進していきたい。									

地域再生計画（污水処理施設整備交付金）事後評価調査

都道府県名	三重県	事業実施主体	津市	地域再生計画名	「環境と共生する美しい京都」津市南部再生計画
計画期間	平成17～21年度	評価責任者	津市 下水道課長、環境政策課長		

	指標		基準値		中間目標値		最終目標値		事後評価	最終目標値の実現状況に関する評価	
	指標1	指標2	基準年度		年度	中間実績	基準年度	最終実績			
①地域再生計画に記載した数値目標の実現状況	指標1	污水処理人口普及率を61.0%から72.7%に向上させる。	61.0%	H17	H19	71.1%	72.7%	H21	75.8%	○	污水処理人口普及率については、幹線管路の整備を順調に進めることができ、最終目標値である72.7%を大きく上回る75.8%の普及率に達することができた。
	指標2	雲出川の水質の浄化生活環境の保全に関する環境基準（公共用水域）の河川の基準値であるAA水域基準値の1.0mg/l以下に向上させる。	1.5	H17	H19	0.9	1.0	H21	0.6	○	当該測定地点はA水域に該当するため、本来の基準値は2.0mg/lではあるが、最終目標値である生活環境の保全に関する環境基準（公共用水域）の河川の基準値であるAA水域基準値の1.0mg/l以下に向上させることができた。
②地域再生計画に記載した数値目標以外の波及効果の実現状況	指標1	津市雲出川左岸処理区のうち旧久居地区内の北部及び南部処理分区について重点的に整備を進め、整備面積を476haから590haに拡大する。	476ha	H17	H19	530ha	590ha	H21	557ha	×	旧久居地区内の整備を重点的に行ったが、工事箇所が接近しており交通障害が生じるため、工事範囲の拡大が困難であることによる事業量の減少のため、目標値を若干下回った。
	指標2										
③事業の進捗状況	事業名		整備量（その他の事業では取組内容）			事業の進捗状況に関する評価					
			計画	中間年度(H)	最終実績						
特別措置を適用して行う事業	公共下水道事業（整備量・事業費）	13,944m 2,016,000千円			24,918m 2,111,691千円	公共下水道事業については、計画を見直し、本管の埋設深を浅くできることが出来たことにより、整備量の増加が図れ、目標値を大きく上回ることができた。					
	浄化槽設置整備事業（整備量・事業費）	1,280基 490,515千円			745基 280,133千円	浄化槽設置整備事業については、景気後退、高齢化世帯の増加、住宅着工戸数の減少などの要因や、公共下水道供用開始区域の拡大もあったことから、浄化槽設置が減少したため、目標値を下回ることになった。					
	新規の処理人口	5,825人 3,173人			3,623人 2,235人	新規の処理人口については、雲出川左岸処理区のうち旧久居地区の施工箇所が近接しており交通障害が生じ、工事範囲の拡大が出来なかったことによる事業量の減少及び景気後退、高齢化世帯の増加、住宅着工戸数の減少、公共下水道供用開始区域の拡大による浄化槽設置の減少により目標達成が出来なかった。					
その他の事業	自然との共生	アマゴの稚魚放流			毎年6月の環境月間にちなみ、保育所児童によるアマゴの稚魚放流を行い自然と共生する思いを育む。						
	公共下水道の推進	下水道の日 ひさいまつりでの啓発			毎年9月10日の下水道の日にちなみ、広報等を通じて下水道への理解を深めるため啓発を行った。						
	農業振興の推進	かんこ踊り、寛政の一揆・ひさい辯の盆			地域に根付いた祭「かんこ踊り」、「寛政の一揆・ひさい辯の盆」等を行うとともに、農産物の直接販売を行い、農業の振興を図った。						
	地域振興の推進	三多気の桜のライトアップ			地域おこしイベントとして全国でも有名な三多気の桜を中心に観光シーズンにはライトアップ等を行い、夜桜を楽しめるようにする等して、地域の振興を図った。						
計画外で独自に実施した事業											
④評価方法	計画期間終了後、最終実績及び推移を基に事業の評価を実施した。										
⑤事後評価の公表方法	市のホームページへ掲載										
⑥計画全体の総合評価	公共下水道、浄化槽の污水処理施設の整備を進め、生活環境の改善につなげることが出来たと考えられる。										
⑦今後の方針等	北部エリア、南部エリアを分けずに、津市全体としての新たな地域再生計画の作成を行い、引き続き推進していきたい。										